

(件名)

第 1 回 再発防止対策検証委員会の概要

1 会議概要

- (1) 日 時 令和元年 7 月 10 日 (水) 午後 3 時～午後 4 時 30 分
- (2) 出席者
出席委員 (3 人) 日詰一幸委員、内山昌美委員、辻慶典委員
事務局 副市長、総務部長、企画部長、職員課長、契約検査課長、
広報広聴・シティプロモーション課長、秘書政策課長
- (3) 協議事項
 - ① 事件概要
 - ② 経過及び対応
 - ③ 原因究明及び再発防止の取り組み

2 主な意見

(1) 予定価格の事前公表について

- ・磐田市も以前は事前公表をやっていたが、事後公表に変えてきた経緯がある。事前公表を実施していた時と事後公表になってからの落札率について、今後も継続的な検証が必要
- ・まずは、1 年間、事前公表を試行しながら、市の内部で、再発対策防止策とともに今後の方向性等について議論し、最終的な予定価格の公表のあり方を検討すべきではないか。

(2) 職員アンケートについて

- ・アンケート結果が、まさに今の磐田市の現状なので、これをベースにしながらどこまで課題を改善するのかというような目標、ビジョンを持っていただくということはやはり必要だと思う。
- ・アンケートを実施する以上は、アンケート結果が正しく実態を反映しているかどうかというのが問題になってくると思うが、結果を見る限りアンケートに職員は正直に答えているという感想をもった。

(3) 公益通報制度について

- ・このアンケートを機にルールの見直し、具体的なもう少し職員が使いやすいような見直しをかけてもいいと思う。「制度を知らない」が 62.9%なので周知するという方法も検討する必要があると考える。

(4) 再発防止対策について

- 法令に違反するものがあるのであればお互いに監視し合うというような、風土、職場の雰囲気は何らかの形でつくっていかないと、完全に防止することは難しいと感じる。
- このアンケート結果から、今後職員の倫理観に関する対策が、必要になるのではないかと感じた。
- 事件の原因について考えた時に、仮に第三者からの通報で始まったとした場合に、第三者が気づき得て自分たちが気づき得なかったことは事実になってくる。どうしても人は自分の見たいようにしか物が見えないというか、バイアスがかかってその物事、自分がこんなことはするはずがないと思えば他人もするはずがないという形で考える傾向にある。
そういう中であって、何がそういうものを妨げているのか、あるがままに見えないのか、再発防止策を考える際には、そのようなことについても、検討していく必要があると思う。
- 職員アンケートは、非常に貴重な資料というか、今後役に立ちそうなすごくいい結果がいっぱい出ていると思うので、ここから何かしら問題点も既に抽出しているでしょうし、それに対する対応策も考えていると思うので、そのあたりを今後のテーマとして、またこの場で話していければいいと考える。
- 再発防止策の有効性がずっと持続的に維持されていくかどうかということを保証するための方策（システム）も一緒に盛られているかどうか、そういったものも幾つかの観点で考えていきたいと思っているので、そういった事も意識しながら対応策を考えていただきたい。